

# 平成20年の観光客数について

## 平成20年の概要

- 本市の平成20年観光客数は、実人数約6,123千人で、対前年比約6千人・0.09%の減で、合併後最高の実績となった平成19年の6,129千人にはわずかに及びませんでした。
- 旧下関地区は、実人数ベースで約3,685千人、前年比約105千人・2.94%の増となりました。このうち、通年型観光客数は約1,777千人、季節型観光客数は約1,908千人で、それぞれ4.58%、1.46%増と、ともに前年を超える結果となっています。通年型観光客数の中では唐戸～火の山～長府地区の伸びが大きく、ロープウェイ運行日数の拡大による火の山地区への入込客数増や長府地区の各施設の利用者増が目立ちました。
- 菊川地区は、実人数約430千人で、対前年比は約63千人・12.68%の減となりました。夏期のガソリン高騰による主要施設の利用者数の落ち込みに加え、一部施設の休館も影響し、大幅な減少となりました。
- 豊田地区は、実人数約966千人で、対前年比は0.27%の微増となりました。道の駅「蛸街道西ノ市」の利用が引き続き好調に推移しており、宿泊者数もほぼ前年の水準を維持しています。
- 豊浦地区の観光客数は実人数約510千人、前年比は12千人・2.21%の減となっています。大きい割合を占める川棚温泉の減少が大きく影響していますが、リフレッシュパークなどの手軽なレジャー施設の利用は一定の水準を保っています。
- 豊北地区は実人数約532千人で、約39千人、6.88%の減となりました。依然として角島エリアは観光地として注目を集めていますが、マイカーやレンタカーを利用する観光客の割合が高いエリアであることから、ガソリンの高騰が最も大きく影響したものと考えられます。
- 宿泊者数は市全体で約763千人で、前年に比べ、約18千人、2.26%の減になりました。エリア別に見ると、菊川及び豊浦地区の減少が大きく、旧下関と豊田地区の落ち込みは小幅にとどまっています。
- 官民を挙げて取り組むしものせき観光キャンペーンや、山陰観光列車みずゞ潮彩やロンドンバスの運行など新たな観光素材を活用した事業に加え、7～9月には山口県全体で「おいでませ山口デスティネーションキャンペーン」に取り組むなど、各種のソフト戦略を積極的に展開しましたが、春から夏休み時期にかけてガソリン価格が高騰したことや、秋以降の急激な景気後退などの要因が重なり、観光客数については一部エリアでの落ち込みが顕著に表れ結果、市全体としてはほぼ前年並み、また宿泊者数については全市的に前年を割り込む結果となりました。

## 観光客数

		H20	H19	増減	前年比
延 人 数	全体	9,635,586人	9,486,869人	148,717人	1.57%
	旧下関地区	6,598,458人	6,315,614人	282,844人	4.48%
	通年型観光客数	4,690,588人	4,435,231人	255,357人	5.76%
	下関駅地区	121,120人	119,309人	1,811人	1.52%
	唐戸地区	3,062,941人	2,938,216人	124,725人	4.24%
	火の山地区	529,063人	432,409人	96,654人	22.35%
	長府地区	367,771人	324,991人	42,780人	13.16%
	吉田地区	53,831人	59,786人	△ 5,955人	△ 9.96%
	山陰地区	121,811人	123,131人	△ 1,320人	△ 1.07%
	その他施設(旧下関)	434,051人	437,389人	△ 3,338人	△ 0.76%
	季節型観光客数	1,907,870人	1,880,383人	27,487人	1.46%
	菊川地区	450,281人	515,805人	△ 65,524人	△ 12.70%
	豊田地区	1,254,547人	1,251,158人	3,389人	0.27%
	豊浦地区	558,651人	571,723人	△ 13,072人	△ 2.29%
豊北地区	773,649人	832,569人	△ 58,920人	△ 7.08%	

		H20	H19	増減	前年比
実 人 数	全体	6,123,066人	6,128,649人	△ 5,583人	△ 0.09%
	旧下関地区	3,684,975人	3,579,724人	105,251人	2.94%
	通年型観光客数	1,777,105人	1,699,341人	77,764人	4.58%
	季節型観光客数	1,907,870人	1,880,383人	27,487人	1.46%
	菊川地区	430,446人	492,980人	△ 62,534人	△ 12.68%
	豊田地区	965,651人	963,097人	2,554人	0.27%
	豊浦地区	510,071人	521,602人	△ 11,531人	△ 2.21%
	豊北地区	531,923人	571,246人	△ 39,323人	△ 6.88%

【参考】 延人数：観光スポットやイベント等への観光客の単純合計人数

実人数：延人数の重複を考慮した観光客数

（1人が2箇所の観光スポットを訪れた場合、延人数は2人、実人数は1人となります。）

通年型観光客数：観光施設や史跡・名所など年間を通じて観光ができるスポットへの観光客数

季節型観光客数：祭りやイベントなど時期が限定される行事への観光客数

### 宿泊者数

		H20	H19	増減	前年比
宿泊者数		762,788人	780,404人	△ 17,616人	△ 2.26%
	旧下関地区	594,507人	603,574人	△ 9,067人	△ 1.50%
	菊川地区	6,296人	7,053人	△ 757人	△ 10.73%
	豊田地区	57,346人	57,853人	△ 507人	△ 0.88%
	豊浦地区	40,533人	44,957人	△ 4,424人	△ 9.84%
	豊北地区	64,106人	66,967人	△ 2,861人	△ 4.27%